

## 編輯 便 り

一月月上旬準備に着手して今日二月十日創刊號編輯の筆を擱くに際して先づ感謝致します事は各方面の大家、先輩の方々が本誌の爲めに多大の御援助を與へられた事をです編輯部同人は種々なる方面から與へられた熱烈なる御聲援に對して非常な責任を感じます漸次號を逐ふて益々内容の充實を計ります。種々なる手續きで初號發行の豫定日が遅れて二十五日頃になりました事を御わびします。寫眞版と對照して設計圖をもなるべく出し度

いつもりです。

復興局の橋梁工事も漸次進み行くに隨ひ次號には設計圖の一部をも紹介致し度いつもりです。

創刊號にも外國のものを數枚加へましたが尙ほ目下紹介中のものがありますから四號位からもつこ新しいものが出せる事ご思ひます。丹那盆地のボーリング工事及地質圖は紙面の都合で次號に詳細に紹介する事に致しました

## 工事寫眞募集要項

(懸賞寫眞募集要項は次頁)

1. 一般土木建築工事に關するもの
2. 工事附帶の諸設備及び使用中の機械及び材料に關するもの
3. 寫眞は手札判以上の大きにて、工事寫眞は光澤紙に焼付たるもの
4. 寫眞説明文は時、場所、位置方向、工事名、工事關係者名を記入する事尙ほ工程及主要なる圖表、工事報告書等は寫眞と同封せられ度し

5. 寫眞に就て部分的の説明を要するものは印畫紙に白色インキにて記入せられたし
6. 寫眞の説明に必要な圖面はトレーシングペーパーに認めたるものに限る
7. 總て採録せし寫眞及び寄稿者には薄謝を呈す

大正十四年二月

工事畫報社

<p style="text-align: right;">大正十四年二月二十日印刷 大正十四年二月廿五日發行</p> <p style="text-align: right;">東京府北豊島郡西巢鴨町池袋三 編輯兼 岡崎保吉 發行人 岡崎保吉 東京市京橋區木挽町一ノ一四 印刷所 鷺見知枝磨 東京市京橋區木挽町一ノ一四 印刷所 鷺見文友堂 東京市麴町區有樂町一丁目一番地 發行所 工事畫報社 電話大手五〇八四番 振替東京七〇貳六五番</p>	<p>注 文 して注文は總て前金、送金は必ず振替貯金に 便して振替東京七〇貳六五番宛拂込の事、但 郵に六ヶ月以上の上の申込は御希望により集 文 便に</p>	<p>料 讀 講 外 國 行 一 六 參 壹 行 一 六 參 壹 ハ 一 部 年 月 部 部 年 月 部 七 共 八 四 貳 十 六 圓 圓 圓 錢 同 同 稅 共 二 錢</p>	<p style="text-align: center;">土木建築 <b>工事畫報</b> 第一卷第一號 定價一部七十錢(稅二錢)</p> <p style="text-align: center;">每月一回十五日發行 一ヶ年十二册發行</p>
---	--	--	---